

第16回 ちゅうでん教育振興助成（平成28年度）

報告書資料 一般-02

学校名・団体名	札幌市立福井野小学校
HPアドレス	http://www16.sapporo-c.ed.jp/fukuino-e
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	都市で育む郷土愛と伝統文化の継承 ～五天山ものがたり
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>●札幌市内では各所で急速に宅地化が進み、地域の結びつきが薄れつつあります。その中で、開校当初から実践されてきた「太鼓活動」を教育活動の特色に据え、学校・地域の文化として継承していくことで、より郷土を愛し、守り、創造していく態度を育てていくことを目的としています。</p>	

◎ 本活動のメインは7月開催の「太鼓発表会」ですが、この発表会のために丸一年をかけて太鼓演奏の技能を高めていきます。難易度の高い演奏技能を後輩に伝えるべく、高学年は指導方法に工夫を凝らしながら伝授していきます。厳しすぎぬよう、飽きぬよう、相手を思いやりながら伝えていくことで、心の成長が見て取れました。

また、太鼓の技能だけでなく、並行して地域を学ぶのがこの活動の特色です。福井の地に伝わり「五天山ものがたり」が大きく影響を受けた「福井ばやし」のルーツをたどる、五天山という山名から昔の開拓の様子を調べるなど、多岐にわたる学習を、学年の成長実態に応じて行いました。

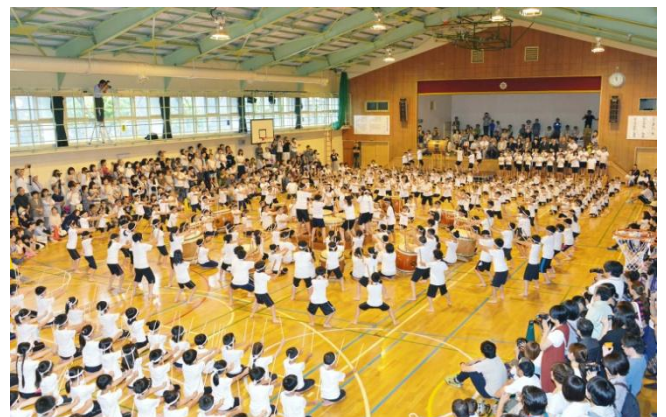


●4月～6月……担当パートの練習

・前年度の後期に受け継いだ先輩からの技能を、新しい学年、学級で練習し直す活動です。新しいメンバーで「息を合わせ直し」て本番に臨みます。細かな調整をしながら、組曲を仕上げます。粘り強さと協調性を高めていきます。

●7月2日(土)……太鼓発表会「五天山ものがたり2016」

・保護者、地域の方々約800名を迎えて、「五天山ものがたり2016」を開催しました。5部で構成されるこの演奏は、福井地区の開拓の歴史を題材につくられた伝説を「静」と「動」で表現したものです。ピンと張り詰めた空気の中、あうんの呼吸で始まるこの一年に1度きりの演奏に、全校児童の気持ちを合わせます。中には、「子どもの頃、自分もたたいていた」と話す本校OBの保護者もおります。「自分の子どもにもこの感動を伝えたくて、この地に戻ってきました。」



●発表会以降、学年末…「地域を学ぶ」学習のまとめ、
後輩に演奏を伝える活動

・演奏法のみならず、地域をより深く掘り下げ知る活動をしていくことで、「地域の一員」という自覚が生まれ、この「五天山ものがたり」を伝えていく意味を感じ取ることができていると考えます。

●10月24日(月)……太鼓意見交流会の開催

・本校では、この太鼓活動のよさを継承していくために、校外の方々からこの活動について客観的なご意見を聞き、声を反映させながら教育課程を編成しています。今年度は10月24日に開催、歴代教職員や「福井ばやし」保存会の方々に多くの観点からご助言をいただくことができ、次への活力となりました。